

彼らはなぜ、消防団に!?

現役消防団員の声

実際にきてみました!



相羽 克洋
第一分団 部長
公務員

●消防団に入ったきっかけは?

相羽: 私はもともと福生市と他市との市境の地域で生活していて、正直なところ、市内に住んでいる感覚が薄かったので、仕事をしていく上で、地元のことをもっと知らないといけないかなと思い、地元のことをよく知れる消防団を先輩に紹介され、入団しました。



横瀬: 僕は配属された職場の先輩が既に消防団に入っていて、その先輩から誘われました。実際のところ、消防団のことをよく分からないまま入ったけど、実際入ってみたら同級生も多いし、知ってる先輩後輩も意外と多くて良い環境でしたね。



横瀬 友佑
第二分団 班長
公務員

風間: 僕も同じきっかけです。入団前も入団直後も、全くイメージがついていなかったけど、いざ消防活動が続いていると、だんだん何を目的にこの行動をしているのかとかが分かってきて、面白みも徐々に分かってきたのかな、と思います。

田中: 自分は親が消防団に入っていて、卒団した後も、消防団員の仲間と楽しそうに過ごしている親の姿を幼い頃から見ていて、自分も消防団に入ること、死ぬまで付き合える仲間が一人でも多くできるんじゃないかという思いもあって入団を決意したね。



田中 伸英
第三分団 副分団長
クリーニング業

宇津木: 自分も父親が消防団に入っていたけど、最初はあんまり消防団に興味がなくて、断っていた時期もあって(笑)でも、自営業をやっている中で、地元で働く以上、地元に貢献してみるのも良いかなと思うようになってきました。

●どんな人が消防団に向いている?

相羽: 市外から引っ越してきてどうやって馴染もうか迷っているお父さんが意外と多いなというのを最近感じているんですが、そういう方こそ、地元を、地域を知る機会の一つとして消防団はオススメです。すぐに馴染めると思いますよ。

横瀬: 消防団って大人の部活っていうイメージがあるんですね。目標に向かって、みんなで頑張っていくっていう、学生時代の部活の、あの感じ。部活動で熱くなっていた人は、すんなり消防団に溶け込めるんじゃないかな(笑)



宇津木 啓員
第四分団 団員
建設業

風間: 幅広い年代の方々と濃密な関係を築くことができるまねな組織だし、自分にとって大きな経験値になると思います。なにかを始めたいっていう人に、是非入ってきて欲しいです!

宇津木: 入団した後に、実はあの人と自分が同じ趣味だったんだとか、思わぬ繋がりができるのも、この消防団という組織の良い点だと思う。



風間 俊英
第五分団 団員
公務員

田中: ただ、実際に入ってみないと分からないと思うし、その一歩が踏み出せない人が多いのも分かる。迷っている人は、食わず嫌いをしないで、気軽に入団してみて、自分でじっくり判断して欲しいな。



来たれ!新入団員!

あんまち!! 徒然コラム ~通学路見守り員のお仕事に突撃取材!~

通勤、通学や午後のお散歩の時に、オレンジ色のベストを身に付けた方々を目にしませんか? 今号ではオレンジベストの見守りスペシャリスト、「通学路見守り員」取材しました。「通学路見守り員」の方々は、市内の小学校7校の通学路で、登下校する児童を交通事故や犯罪等にあわないように見守っています。

1日の見守りは朝の児童の登校から始まり、定位置に留まった見守りはもちろん、通学路のあらゆる場所に移動しながらの見守りも行っています。

終わるのは夕方、常に児童の安全に気を配るため、根気が必要な仕事です。

ただ見守り員の皆さんはとにかくパワフルで、同行取材をさせていただいた当日もカンカン照りで汗が止まらなくなる天候でしたが、「時間いっぱい、一箇所でも多くの場所をみまわりたい」と意気揚々と見守りをされていました。

福生市の児童の安全な通学は、見守り員の方々の、元気と努力によって支えられていました。



「内閣官房からのお知らせ」 いざというときのために! ~弾道ミサイル落下時の行動~

弾道ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、「Jアラート(※1)」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、「緊急速報メール等(※2)」により緊急情報をお知らせします。

メッセージが流れたら落ち着いて、直ちに行動してください。

- 屋外にいる場合
できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
- 建物が近くでない場合
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合
窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

サイレン音が試聴できます。(引用: 国民保護ポータルサイト)

※1 Jアラート(全国瞬時警報システム)とは、国(総務省消防庁)が運用している、通信衛星と全市町村の防災行政無線を利用し、緊急情報を住民に瞬時に伝達するシステムです。

Jアラートにより 流れるメッセージの一例 **「直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに屋内に避難してください。」**

※2 緊急速報メール等とは、国、地方公共団体が発する災害・避難情報や気象庁が配信する緊急地震速報などを、携帯大手事業者を通じて携帯電話やスマートフォンに一斉に同時配信するものです。緊急速報メール等が受信できるか不安な方は、福生市のホームページに確認方法を載せていますので、確認してください。

国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロから身を守るための、国民保護に関する総合的な情報が、内閣官房より提供されています。
<http://www.kokuminhogo.go.jp>

~緊急地震速報の試験放送が実施されます~
Jアラートを活用した全国的な試験放送が次の日時で予定されています。当日には、防災行政無線からサイレンとともにメッセージが流れます。
【日時】平成29年7月5日(水)午前10時15分ごろ